

プレスリリース

「五十嵐威暢 — プロセスと展開」展

会期 | 2026年11月14日（土）－12月14日（月）

会場 | 多摩美術大学 八王子キャンパス アートテーク 101-105 ギャラリー

プロセスと展開



五十嵐威暢

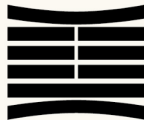
五十嵐威暢

Takenobu Igarashi: Process and Development

2026 11.14 Sat. — 12.14 Mon.

Art-Theque Gallery 101-105,
Hachioji Campus, Tama Art University

Opening Hours | 10:30 - 18:30
Closed | Every Sunday / Saturday, Nov. 21
Admission | Free



Tama Art University

2026年11月14日（土）－12月14日（月）
多摩美術大学 八王子キャンパス アートテークギャラリー 101-105
開館時間 | 10:30-18:30 休館日 | 日曜日、11月21日（土） 観覧料 | 無料

主催	多摩美術大学
監修	大島徹也（多摩美術大学美術館館長／多摩美術大学芸術学科教授）
企画	多摩美術大学美術館
学術協力	佐賀一郎（多摩美術大学グラフィックデザイン学科教授）
協力	五十嵐威暢美術館かぞのび、金沢工業大学 五十嵐威暢アーカイブ、株式会社竹尾
協賛	大塚オーエ工業株式会社、株式会社バルコ
後援	株式会社中川タニカ
	八王子市教育委員会、町田市教育委員会

〈ウッドアルファベット GO〉1981、金沢工業大学 五十嵐威暢アーカイブ、撮影：SAKI

UNIVERSITY

niversity ←

TAMA ART UNIVERSITY

世界的なデザイナーそして彫刻家として知られる五十嵐威暢（1944-2025）。
母校であり、教壇に立ち、学長を務めた多摩美術大学で、クリエイションのプロセスと展開を切り口に
五十嵐の魅力を発見する展覧会。

五十嵐威暢 — プロセスと展開

五十嵐威暢（いがらし・たけのぶ、1944–2025年）は、グラフィックデザイナー、プロダクトデザイナーおよび彫刻家として世界的に活躍した人物です。本学美術学部デザイン科の卒業生で、1989–93年には本学教授、2011–15年には本学学長を務めました。本展は、昨年2月に逝去された五十嵐元学長への追悼を込めて、五十嵐威暢の仕事を「プロセスと展開」という新たな視点のもとで捉え直し、ご紹介するものです。

本展では、五十嵐の仕事の初期から晩期までを扱いつつ、しかし、年代順や「グラフィックデザイン」「プロダクトデザイン」「彫刻」といったジャンル別の見せ方ではなく、特に次の2つの問題に重点を置いて展示を構成します。1つは、五十嵐の制作の「プロセス」の、そのダイナミズムを見せることです。そしてもう1つは、彼の仕事全体を俯瞰することで見えてくる、ジャンルや時間を越えた彼の造形の豊かな展開性です。加えて、それらの問題に目を向ける中で、多摩美術大学関係の五十嵐の仕事も大きく取り上げていきます。

本展は、次の8つのパートから成ります。1.「多摩美術大学のシンボルマーク」、2.「八王子キャンパスの野外彫刻《Dragon Spine》」、3.「かたちのいのち—動物イラストレーションから」、4.「立ち上がる文字—ART&DESIGN」、5.「層構造が奏でる響き」、6.「世界のMoMA と」、7.「PARCO のロゴ」、8.「つくることによって、人は本当の生を得ている」。

本展では、五十嵐威暢のデザインとアートの作品約70点、およびスケッチなど多数の関連資料を出品します。そうして彼の仕事の「プロセス」と「展開」を追い、さらには、その先に彼が何を心に思い描いていたのかについて、展示を通して皆で考えていきたいと思えます。

【概要】

展覧会名	五十嵐威暢 — プロセスと展開 (英語表記 Takenobu Igarashi: Process and Development)
会期	2026年11月14日（土）–12月14日（月）
休館日	日曜日、11月21日（土）
開館時間	10:30–18:30
観覧料	無料
会場	多摩美術大学 八王子キャンパス アートテーク 101–105ギャラリー (東京都八王子市鎌水2–1723)
主催	多摩美術大学
監修	大島徹也（多摩美術大学美術館館長／多摩美術大学芸術学科教授）
企画	多摩美術大学美術館
学術協力	佐賀一郎（多摩美術大学グラフィックデザイン学科教授）
協力	五十嵐威暢美術館かぜのび、金沢工業大学 五十嵐威暢アーカイブ、株式会社竹尾 大塚オーミ陶業株式会社、株式会社パルコ
協賛	株式会社中川ケミカル
後援	八王子市教育委員会、町田市教育委員会

【会場アクセス】

住所	東京都八王子市鎌水 2–1723
交通案内	JR 横浜線・京王相模原線橋本駅北口 → 神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」で約8分 JR 八王子駅南口 → 京王バス「急行 多摩美術大学行」で約20分

- * 会場には一般駐車場がありません
公共交通機関をご利用くださいますよう、お願いいたします
- * お車でお越しの場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください
- * 車椅子を利用される方や歩行の不自由な方は、事前にご相談ください

【展示の見どころ】

●デザインとアートのクロスオーバー：デザイナーから彫刻家へ

デザイナーとして世界的に活躍した五十嵐は、50歳を機に彫刻家へ転身しました。五十嵐はデザインとアートの境界を意識しながらも、しなやかに横断し、自らの世界を深めてゆきます。本展では、五十嵐のグラフィックデザインからプロダクト製品、さらに陶や金属や木など、様々な素材の彫刻作品がシームレスに広がる空間をご覧ください。

●「多摩美術大学のシンボルマーク」の制作プロセスを紐解く

本学のユニバーシティアイデンティティ（UI）を表すシンボルマークは、五十嵐威暢によるデザインです。五十嵐は、アイデア図を多く残しており、本展ではこれらを公開します。それらに残る「手の痕跡」から、デザイナーの思考と制作プロセスを紐解いてゆきます。

●多摩美で輝く「PARCOのネオンサイン」

渋谷パルコPART3のためにデザインされたアルファベット（通称「五十嵐ロゴ」）は、パルコの建物と渋谷の街全体が響き合い、若者文化のアイコンとなりました。全国に展開された「五十嵐ロゴ」から、このたびは松本パルコ（2025年2月閉店）に掲げられていたネオンサイン「P」が展示室にて輝きます。

【関連イベント】

座談会「五十嵐威暢のデザインとアート」

日時 | 11月14日（土）13:00–14:30

会場 | 本学 八王子キャンパス レクチャーホール Aホール

登壇者 | 内藤廣（建築家／本学学長）

佐賀一郎（デザイン研究者／本展学術協力者／本学グラフィックデザイン学科教授）

濱田芳治（プロダクトデザイナー／本学生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻教授）

佐竹邦子（アーティスト／本学絵画学科版画専攻教授）

司会 | 大島徹也（美術史家／本展監修者／多摩美術大学美術館館長）

* 申込み不要・参加費無料

* 会場に直接お越しください

本展監修者（大島徹也）によるギャラリートーク

日時 | 11月28日（土）14:00–（約 40 分）

会場 | 本学 八王子キャンパス アートテーク 101–105ギャラリー

* 申込み不要・参加費無料

* 会場に直接お越しください

たまびで！おしゃべり鑑賞会

対象 | 小学生

定員 | 各回 10 名

日時 | 12月12日（土）

13:00– 1・2年生 / 14:00– 3・4年生 / 15:00– 5・6年生

会場 | 本学 八王子キャンパス アートテーク 101–105ギャラリー

参加方法 | 当館ウェブサイトよりご応募ください

参加費 | 無料

* 定員に達し次第〆切

なお、定員に達する間に複数のお申し込みが重なった場合は、その中から抽選とさせていただきます。参加の可否につきましては、ご応募から1週間程度を目安にメールにてご連絡いたします。

【プレスツアーのご案内】

新聞・雑誌 その他のメディア（デジタルメディアを含む）の記者の方に向けて、プレスツアーを開催いたします。参加を希望される方は、下記のフォームよりお申し込みください。当日は開会式も行いますので、ぜひ開会式からのご参加をお待ちしております。

日程：11月14日（土）

受付：多摩美術大学 八王子キャンパス アートテーク 1階エントランス（東京都八王子市鍵水2-1723）

当日のスケジュール

10:00－10:30 開会式（場所：アートテーク 1階 エントランス）

10:30－11:30 プレスツアー（場所：アートテーク 2階 201・202ギャラリー）

* 開会式終了後、2階のギャラリーへご移動いただきます。

プレスツアー申込フォーム： <https://forms.gle/mFfitWUtXPrQ1dXh9>

*申込〆切：11月12日（木）



【広報用写真について】

新聞や雑誌、テレビなどマスコミ・プレス関係の方向けに、広報用写真をご用意しております。（次頁参照）

* 画像を利用される場合には、下記の条件をご確認の上、下記のフォームよりご申請ください。

* 申込完了後、写真ダウンロードのURLは、申請完了後の最終画面に表示されるため、ブラウザを閉じずにご確認ください。

* 必要事項：貴社名／ご担当者名／貴媒体名（ジャンル）／利用方法／発売・放送予定日

広報用写真利用申請フォーム： <https://forms.gle/Abym7TGxMF2NVuvy8>



諸注意

- ・画像の利用は、展覧会の広報・紹介を目的とする新聞・雑誌 その他のメディア（デジタルメディアを含む）の記事内のご使用に限ります。
 - ・掲載時はタイトル、写真クレジットを必ず表記ください。
 - ・トリミング、文字載せはお控えください。
 - ・記事をご掲載いただく場合には、情報確認のため校正原稿をお送りください。
 - ・掲載誌、HP リンク等をお送りいただけると幸いです。
- 以上、ご理解・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

多摩美術大学 美術館事務室 広報担当

電話 | 042-703-7767（代表）

FAX | 042-703-7841

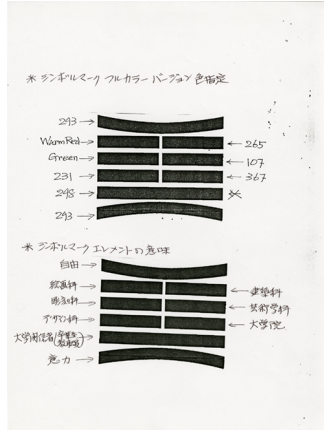
Eメール | museum@tamabi.ac.jp

WEBサイト | <https://museum.tamabi.ac.jp/>

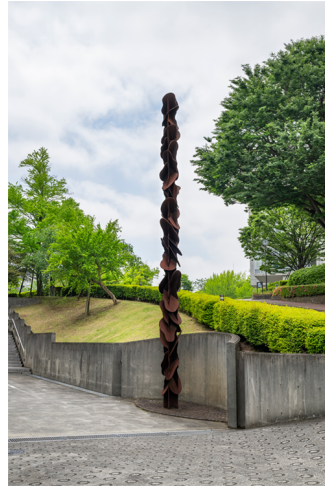
【広報用作品写真一覧】



《ウッドアルファベット GO》
1981、金沢工業大学 五十嵐威暢
アーカイブ
撮影：SAIKI



《多摩美術大学のシンボル
マーク デザイン原案資料等》
1995、金沢工業大学 五十嵐威
暢アーカイブ



《Dragon Spine》
2000、多摩美術大学
撮影：齋藤彰英



《松本パルコ ネオンサイン
「P」》
1996、株式会社パルコ
撮影：齋藤彰英



《EXPO'85》
1982、竹尾ポスターコレク
ション
撮影：竹尾アーカイヴズ



《Y・M・D ステンレステーブ
ルセッティング》
1989-94、金沢工業大学 五
十嵐威暢アーカイブ
撮影：目羅勝



《終わりのない道筋 其の一》
2012、五十嵐威暢美術館かぜ
のび
撮影：佐藤雅英



《ナイキ180 エアシューズの
ための彫刻》
1990、金沢工業大学 五十嵐威
暢アーカイブ
撮影：藤塚光政